

3 研究のまとめ

(1) 成果

授業の考察を通して、自他の活動のよさに目を向け、互いに認め合うことができるようになるとともに、学んだことをそれからの生活に生かそうとする児童の姿を見取ることができました。この姿をよりよい生活や人間関係をつくろうとする姿と捉え、この研究の成果とします。

【研究の視点1 指導過程の充実】

集団活動を特質とする学級活動の振り返りを充実させたことで、児童は、自他の活動のよさが分かるとともに、学級の一員であることを自覚し、よりよい学級集団に高めたいという思いをもつことができました。

【研究の視点2 道徳的価値の意識化】

道徳的価値を意識させたことで、児童は、自他の活動に含まれる道徳的価値に気付き、道徳的実践へとつなげることができました。また、道徳的実践が増えることに心地よさを感じ、道徳的実践を増やしていきたいという気持ちをもつことができました。

(2) 課題

学級活動（1）で育てたい道徳性をより明らかにするとともに、題材ごとに気付かせたい道徳的価値を絞って実践に向かわせることができるように、他の学年についても「意識させたい道徳的価値の表」を整理していきたいと思います。また、自己指導能力を高めるねらいをもつ学級活動（2）において、道徳科との連携について研究を深めたいと思います。